

旅先のあふれる色彩の中でも、特に鮮やかに描かれた赤。一方、穏やかで淡々とした日々を彩る花や果実を静かに捉えた作品にも、赤は印象的に登場します。画家のほとぼる情熱と、描きつづける日常の温もり。〈温もり〉と〈情熱〉をキーワードに、ミュージアムロードの画家たちが表現した〈赤のすがた〉をご覧ください。

【同時開催】 小川原脩展「遙かなる道程～70年の歩み」 8月16日(日)まで
小川原脩展「アジアへのまなざし」 8月22日(土)～11月15日(日)

所在地 〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1
TEL 0136-21-4141
URL <http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>
開館時間 9:00～17:00(入館16:30まで)
休館日 火曜日 ※臨時休館:7月13日(月)～17日(金)
入館料 一般500円(400円)／高校生300円(200円)／小・中学生100円(50円)
※()は10名以上の団体料金
交通案内 〈JR〉函館本線倶知安駅下車徒歩30分またはタクシー10分



小川原脩《羅僧》1983年



木田金次郎《アネモネ》1962年

黒は「かげ」や「暗い」など、マイナスのイメージをもたれることも多い色ですが、絵画の中の黒は、さまざまに対象をひきたててくれる色でもあります。後志の画家たちは、黒をどのように用いて描いているでしょうか。本展では、木田金次郎・西村計雄・小川原脩の作品から、黒に注目して紹介します。

【同時開催】 岩内町町制施行120周年記念
特別展示「アイヌ語地名と木田金次郎」 11月3日(火・祝)まで

所在地 〒045-0003 北海道岩内郡岩内町万代51-3
TEL 0135-63-2221
URL <http://www.kidakinjiro.com/>
開館時間 10:00～18:00(入館17:30まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料 一般600(500)円／高校生以下無料
※()内は10名以上の団体料金・リピーター割引・JAF割引
交通案内 〈バス〉中央バス岩内ターミナル下車、徒歩1分

空、海、山、建物の影。「青」は作品のいたるところに登場する色です。また、同じ青色の絵の具を使っても、描き手のタッチや絵の具の量、溶き油の使い方によってその表情はさまざまに変化します。本展では、後志の画家たちがそれぞれの「青」を用いて描いた風景画を中心にご紹介します。

【同時開催】 夏から秋の展覧会「小品の魅力、再発見！」
7月18日(土)～9月27日(日)

所在地 〒048-2202 北海道岩内郡共和町南幌似143-2
TEL 0135-71-2525
URL <http://www.musee-nishimura.jp/>
開館時間 9:00～17:00(入館16:30まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料 一般500(400)円／高校生200(150)円／小中学生100(80)円
※()内は10名以上の団体料金
交通案内 〈JR〉函館本線小沢駅下車バスまたはタクシー10分



西村計雄《ギリシア》1964年